

東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0023
武蔵野市境南町2-10-24
第二ときわビル2F
Tel & Fax 0422-53-5270



2006. 5.10

都立武蔵高等学校同窓会創立60周年

記念パーティ 2006年6月4日(日)

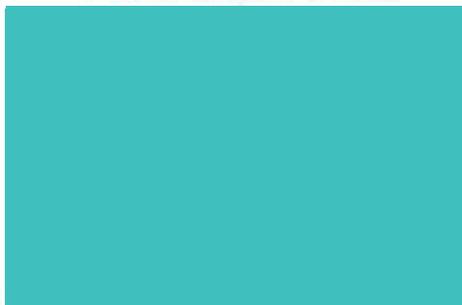


「ウルビーノへ」P10号 児玉 順子 (昭和35年卒12回生D組)

総会・60周年記念パーティ

日 時：6月4日(日)
受付開始13時、総会13時30分
場 所：武蔵野スイングホール
(武蔵境駅北口2分)
講 演：武蔵高校のこれから 井田校長
パーティ：15時00分 レインボーサロン
会 費：一般会員 2,000円
学生会員 1,000円
新卒会員 無料
出 欠：ご出席の方は、同封のはがきでお知らせください。

平成17年度(18年3月) 卒業生同窓会幹事氏名



ご挨拶



同窓会会長 土屋 正忠

都立武蔵高等学校卒業生の皆さん、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年も恒例の同窓会を、6月4日(日)、母校の地元武蔵境のスイングホールで開催いたします。ぜひお出かけください。

今年は同窓会が昭和21年に設立されて以来、満60周年を迎えます。戦後の混乱期に、さまざまな苦勞を乗り越え、同窓会を結成した諸先輩のご努力に心より敬意を表します。

さて、母校武蔵高等学校は、新しい飛躍の年を迎えました。都立高校改革の一環として、平成20年度から中高一貫教育の学校となります。高等学校は、現行1学年8クラス計24クラスから、1学年5クラスで計15クラスとなります。そして、併設して1学年3クラス計9クラスの中学校が開設されます。

新学校の特徴は、生命体としての地球を総合的に考える「地球学」にあると井田校長先生は抱負を語られています。さらに発展していくことを期待したいと思います。

結びになりましたが、私は地元武蔵野市の市長を22年勤めてまいりましたが、昨年の衆議院選挙に当選し、現在衆議院議員として活動しています。都立武蔵高等学校の卒業生では、西川京子衆議院議員に次いで、2人目の国会議員となりました。同窓会長については、引き続き任期いっぱい務めたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。ぜひ、6月4日の総会でお目にかかりましょう。

懐かしい恩師・仲間がそろいます

同窓会60周年記念パーティに 参加しませんか？

第一回同窓会総会が開かれたのは、終戦間もない1946年1月27日。今から60年前のことです。会場は二代木造校舎の体育館で、参加された大先輩のお話では、暖房もなく、とても寒い日だったそうです。

当時はまだ府立第十三高等女学校の時代で、卒業生は5クラス、238名でした。

それ以降、連綿と歴史をつむいできた同窓会は、すでに会員数22,791名を擁し、今年、60周年を迎えることになりました。人間で言えば「還暦」です。これまで培ってきた実績を後輩たちに託す節目の年といえるでしょう。

母校は2008年から中高一貫校に変わります(6ページ参照)。総会では井田現校長から、これからの武蔵のポリシーについて講演をいただきます。

懐かしい恩師も多数ご参加いただけます。クラス会、同期会の仲間に声を掛け合って、ぜひともご参加ください。

同窓会創立60周年 おめでとうございます



井田 良克 校長

同窓会創立60周年おめでとうございます。

昭和15年東京府立第13高等女学校として創立以来、多くの有為な卒業生が本校を巣立ち現在、日本や世界の各界で多様な活躍をされておられます。卒業生の皆様の御活躍が、980名余りの現在の武蔵生にとっての誇りでもあり各自の未来の羅針盤ともなっております。

60周年を迎えられた同窓会が還暦を区切りとして新たな発展へと歩みを進められることを在校生、教職員ともども心から御祈念申し上げます。

さてご承知のことと存じますが、武蔵は平成20年度に新たに都立の中学校を同じ敷地内に付設した中高一貫6年制学校として再出発致します。平成17年度には、同窓生の方2名にもご参加いただきました東京都の基本計画検討委員会での検討結果が東京都の教育委員会で最終報告として承認されました。それに基づき平成18年度に本校内に開設準備室が設置されます。武蔵の良き伝統「自由と自律」の精神を中高一貫校でも受け継いで参ります。今後も引き続き同窓生の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

いま武蔵生は「青春真っ只中」でございます。学校行事に部活動にそしてもちろん授業にもいつも真剣勝負で取り組んでおります。またほぼ隔週に実施しています土曜日の授業にも元気に参加しています。元気はつらつの生徒の一步進んだ進路実現のために微力ながら教職員一同全力で教育活動に取り組んで参ります。変わらぬご支援、ご協力を御願い申し上げます。

東京都立武蔵高等学校校長 井田 良克

同窓会60周年記念パーティに

ご出席の先生方

(ご回答到着順 敬称略)



我が青春の武蔵

60年間の思い出がいっぱいに詰まっています



1946年1月17日。同窓会設立総会が母校の体育館で開かれました。



武蔵境に移転後の第二代木造校舎です。左側の門柱には都立武蔵女子高等学校と書かれ、中央には井戸が見えます。1949年撮影。



高女二回生の教室。地理の時間でしょうか。後ろに南洋の地図が掲げられています。1944年撮影。



第三代校舎。1968年から1974年にかけて改築されました。1993年撮影。



運動会でも女子パワーが炸裂。服装から見ると1960年代と思われる。



第四代校舎。現在の校舎です。二代、三代の校舎は校地の北側にありましたが、この校舎は以前芋畑や草地だった南側に建設されました。2000年撮影。



府立第十三高女設立当時の中野校舎。中央線中野駅南口の高円寺駅よりありました。1940年撮影。



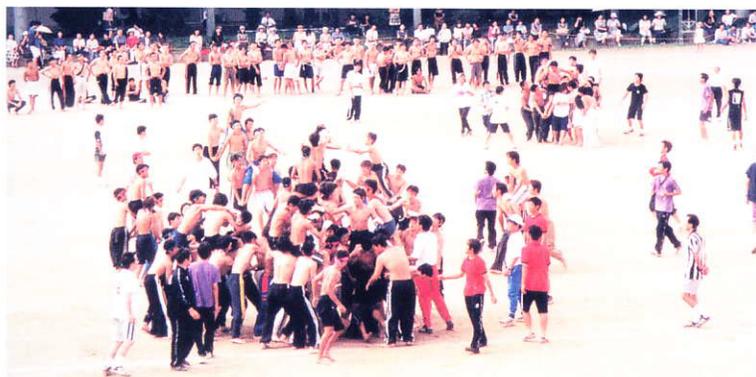
木造校舎最後の教室です。だいぶ傷みが激しくなっています。撮影年代不明。



外国人講師によるセミナー。2003年アルバムより。



文化祭。1989年アルバムより。



運動会。勇壮な男子の騎馬戦です。2001年アルバムより。



移動教室でのファイアーコンパ。2000年アルバムより。

写真を貸してください

古い写真をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお貸しください。武蔵の思い出をデータ化して、長く保存したいと思います。また、今回掲載した写真の詳細をご存知の方も、下記までご連絡ください。

武蔵高校が中高一貫6年制学校になります

東京都教育庁が平成14年10月に決定した「都立高校改革推進計画・新たな実施計画」において、平成17年度から22年度までの間に、10校の中等教育学校及び併設型中高一貫教育校を設置することとしておりましたが、その10校の一つに武蔵高校が入っていました。

その計画に沿って、武蔵高校を平成20年度から中高一貫教育校にするための基本計画を作成する検討委員会が設置され、本年3月に報告書がまとまりました。

この検討委員会の委員には武蔵高校の校長を始め、武蔵に係わる関係者が加わりましたが、同窓会からの推薦ということで一柳副会長が参加しております。

検討委員会報告書の全体は都教育庁が公表しておりますが、ここでは、その中から要点をお知らせします。

報告書の一点目、設置の基本的枠組としては、都立武蔵高校を改編し、同校の伝統及びこれまでの教育実績を踏まえた併設型中高一貫教育校として設置することとしており、学校規模は中学校と高等学校の合計24学級（960人）の規模を想定し、中学校は各学年3学級（120人）、高等学校は各学年5学級（200人）、高等学校段階で2学級（80人）の募集を行うこととし、開校予定は平成20年度（中学1年生受け入れ開始）を予定しています。

報告書では、続けて学校像、育てたい生徒像、教育目標等を書いています。例えば学校像では、①教養教育を行い、6年間の一貫性を重視する学校、②異年齢集団の中で、思いやりのある豊かな人間性を育てる学校、③リーダーとしての資質を養う学校、④国際的な視野を育てる学校、⑤生徒の進路希望を

現させる学校、⑥地域との相互理解を図る学校、についてそれぞれ記述しています。

ところで、中高一貫教育校基本計画をまとめるに当たって、各校に共通して求められたものは、「特色ある教育活動」の設定でした。そこで、武蔵のこの計画では、計画の目玉にもなるものとして「地球学」を設定しています。

人類を生き育んできた地球を、さまざまな科学の枠を超えていろいろな視点で学び、直面する問題を地球全体の問題として考えることを目指し、ここでは、「人間と自然」「文化と文明」「地球の成り立ち」「生物と進化」「地球環境」「地球とエネルギー」といった分野を設定しています。これらをフィールドワーク等を通じて学ぼうとしています。

以上、報告書の中からほんの一部を紹介しましたが、詳しくは都教育委員会のホームページをご覧くださいと思います。

さて、今回の都立中高一貫6年制学校設置計画で、第1号として平成17年4月に開校した都立白鷗高校の初年度の応募倍率が14.26倍という高倍率だったことを見ても、この中高一貫校制度に対する期待度はかなり大きいものと思われます。あと2年弱で武蔵も変わりますが、武蔵の伝統として持っていた自由な校風は是非とも残しながら、新たな発展を期待します。

※報告書は東京都教育委員会トップページ中の「報道発表資料 平成18年」に「立川地区中高一貫6年制学校……外2校……最終報告」として北多摩高・小金井工高とともに入っています。

17年度総会報告

都立武蔵高等学校同窓会
2005～2006年 役員・運営委員



6月5日、例年のとおりスイングホールで開催。

議長に、寺山光一郎さん（10回生）を選出、議事は滞りなく進められ、16年度の事業報告、決算報告、17年度事業計画・予算が承認されました。

今回は役員改選があり、役員選考委員会の榎田さん（11回生）が発表した役員候補が総て承認されました。

終了後のアトラクションは、15回生の大浦美紀子さんの箏と18回生の酒井多賀志さんのパイプオルガンのジョイントという珍しい演奏会です。30分間の演奏を楽しんだ後、レインボーサロンに会場を移し、第2部の懇親会となりました。

今年のホームカミングデイは17回生。また、ホームカミングデイをしていない早い年次の卒業生（高女1回生～高校4回生）をご招待し、いっそう賑わいのある懇親会となりました。

第59回 都立武蔵高校同窓会懇親会

高女1回生・高校4回生・17回生 ホームカミングデー



18回生（昭和41年3月卒）

ホームカミングデイ武蔵を卒業して40年

光陰矢の如し、18歳の“美”学生も初老の入り口にさしかかっています。6月4日の主役が我々18回生にまわってきました。

団塊の世代と呼ばれ、学生運動家から企業戦士に大変貌し、先輩が拓いた仕事を発展させてきました。久しぶりに懐かしい顔に会えます。喜んだり、嘆いたり。慰めあったり、励ましあったり。話し弾む1日にしましょう。

青春は身体の若さではなく、心の若さにあると言えます。今、青春一直線、いつまでも社会を支える一員でいましょう。是非ご参加ください。

表紙を飾らせて頂くことをお引き受けした後それが同窓会の60周年記念号と知り光榮に存じますと共に身の縮む思いでございます。

浪人してまで絵を続ける覚悟があるか分からず、武蔵卒業後社会人として仕事も遊びも熱中し絵も描いておりましたが、もう少しで10年という時、このエネルギーを自身のこれというものに注ぎたいと思い至りました。一番夢中になれるものは絵という結論に達し、父の後押しもありフランスのグルノーブルに3年間の留学が実現いたしました。

そこで絵画と銅版画を学びましたが、絵画の分野のみならず留学中のあらゆる経験が今日の私を成していると思っております。

絵描きとしての選択が、いたしたい事

数々を経ての後ですので、行き詰まった時でも、もうこれしかないのだからと、この果てしないこれで良いという事のない絵の道を歩み続ける事が出来ているのではと思っております。



洋画家 児玉 順子 さん

昭和34年卒12回生D組
1970～1973滞仏
仏国立グルノーブル美術工芸学校
(ボザール) で学ぶ
二科会会友、日本美術家連盟会員

ご覧に入れております「ウルビーノへ」はイタリアを1ヶ月余り旅した時、汽車も通わぬラファエロの生地ウルビーノへの旅の一コマです。いつの旅でも車窓から見るこの美しく豊かな悠々の大地をどうしたら表現できるのかと試行錯誤しておりました。ともすればきれい過ぎメルヘンチ

ックになってしまうのをおそれてなかなか作品として完成せず、やっとこの一点に辿りついたものですが、私の遙かな道は続きます。

平成18年度 退職・転出入者名簿

卒業生 22,791名 住所不明者及び物故者 6,407名